

1 研究主題

自己を見つめ、心豊かに生きる児童の育成 —みとめあい、みがきあう道德の授業を通して—

2 主題設定の理由

現代の児童を取り巻く社会や環境は常に変化し続け、予測不可能と言われている。このような社会を生き抜くためには、自分のものの見方や考え方をしっかり持ち、自ら発信していけるような子どもを育成することが求められる。

学習指導要領改訂の方針では、「基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むと共に、主体的な学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない」と明記されている。道徳科における主体的・対話的で深い学びとして、「道徳教育においては、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育むため、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う『考え、議論する道徳』を実現することが『主体的・対話的で深い学び』を実現することになると考えられる。」と示されている。

本校の児童に目を向けると、豊かな自然や、学校に協力的な地域の中でのびのび育ち、明るく素直である。その反面、自分自身のよさや成長に気づけないため自信がもてない、自分の思いや気持ちをきちんと伝える表現力が乏しい、自主的・自発的にやり抜こうとする意欲が低い等の課題が見られる。これらの課題をふまえ、児童の自己肯定感を高め、自己の学び方や生き方を大事にする児童を育てるために、道徳教育の充実が不可欠である。

研究当初の道徳の授業における課題として挙げられたものは、話し合い活動が上手くいかず教師の価値観の押しつけになってしまい、教材から実生活へと結びついていないという実態であった。これらを改善するためには、道徳教育や道徳の時間のあり方について見直すこと、指導過程や学習活動の工夫が必要であると考えた。

研究の1年次は、道徳の時間の充実をめざし、授業づくりに焦点を当てた研究に取り組んだ。その結果、道徳的価値を自分自身の問題として主体的に受け止めることのできる授業のあり方について、方向性を見出すことができた。しかし、道徳的実践を高める単元開発の必要性やねらいとする価値に迫るための発問の工夫等の課題が明らかになった。2年次は、研究の主な内容として多様な指導方法の工夫を行ってきた。教材から登場人物の気持ちに共感し、自分自身のこととして考える児童の姿が見られるようになった。しかし、多面的・多角的な考えを引き出すための友だちタイムや道徳教育を充実させるための評価のあり方等に課題が残った。本研究の3年次となる今年は、前年度の課題を研究の視点にし、引き続き、「みとめあい、みがきあう道徳の授業を通して、『自己を見つめ、心豊かに生きる児童』」を育てたいと考え、本主題を設定した。

主題にある「自己を見つめ」とは「自分自身を知る」ことであり、「自分自身を考える」ことと捉える。児童が自分自身の内面を見つめることを通して、自分のよさや課題、これまでの経験や生き方、考え方を自覚し、自分がかげがえのない存在であるということに思いを廻らせていく。「心豊かに」とは、美しいものに感動し、常に生きることの喜びと感謝の気持ちに満ち、前向きにたくましく生きようとする心と捉える。それはまた、自分を大事にすると同時に他人を思いやる心でもある。

道徳の時間を道徳教育の要として、意図的・計画的に「自己を見つめ、心豊かに生きる児童」を育てていきたい。

3 研究の目標

互いにみとめあい、みがきあう道徳の授業づくりを通して、自己をみつめ、心豊かに生きる児童を育成する。

4 研究の仮説

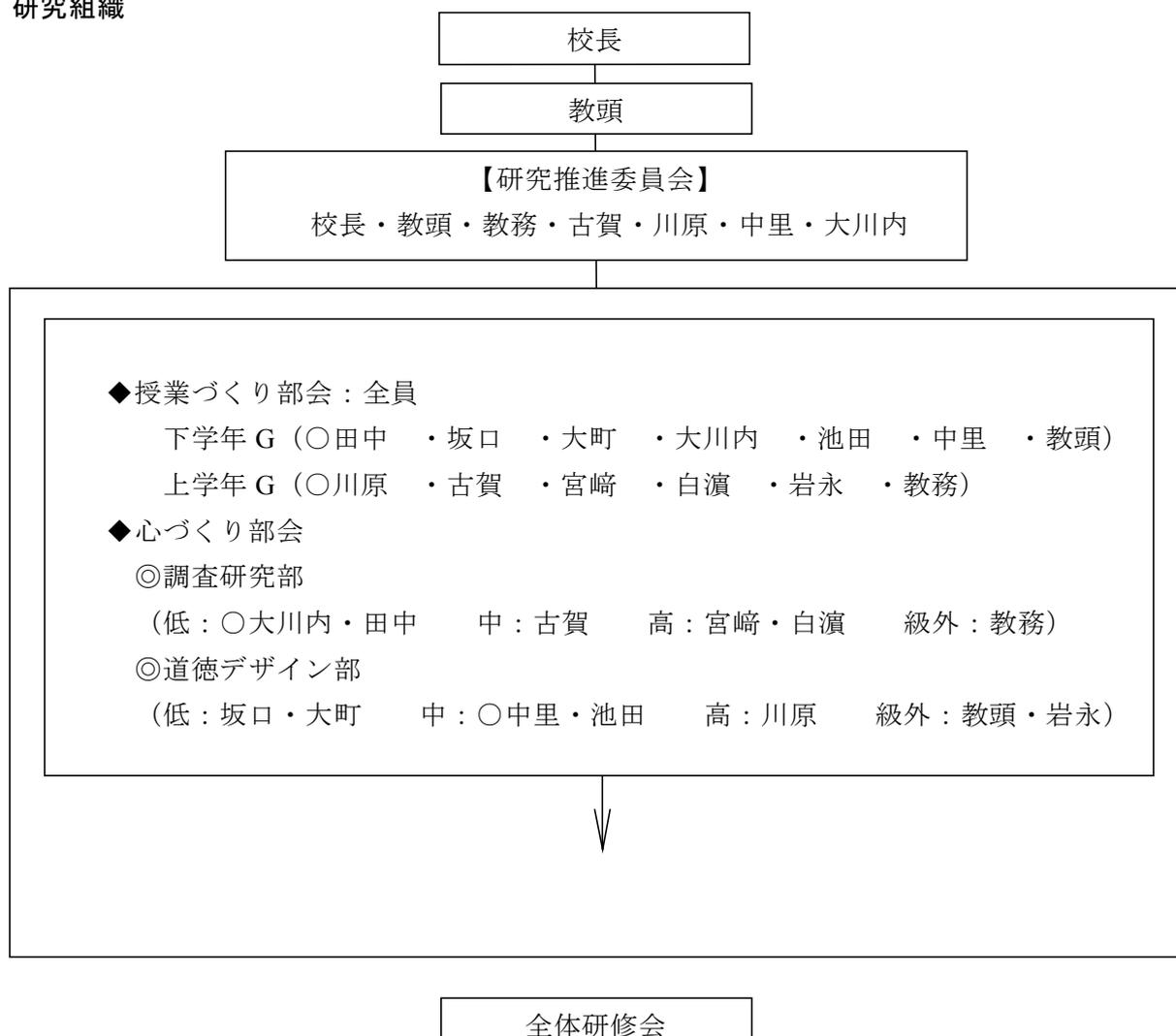
道徳の時間において、以下の視点に基づいた多様な指導方法の工夫を行うならば、自己を見つめ、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、豊かな心を育むことができるであろう。

- 視点1 道徳的実践力を高める単元開発
- 視点2 ねらいとする価値に迫るための発問の工夫
- 視点3 考えを明確にする学び合いの工夫
- 視点4 指導に生かし、子どもの成長につなげるための評価

5 研究の内容と方法

- (1) 道徳性アンケートなどを実施し、児童の実態把握と研究による変容を見る。
- (2) 講師を招聘し、道徳のねらいの設定の仕方や授業の進め方などの工夫について理論研究を行う。
- (3) 道徳の授業実践に積極的に取り組むとともに、研究授業・研究会を充実させ、授業づくり及び評価についての改善を図る。(全学級においての研究授業)
- (4) 先進校への視察や研究会への参観を行って、情報を収集し授業実践に生かす。
- (5) 児童の心を育てることをねらいとする日常の教育活動の充実と家庭との連携に努める。

6 研究組織



7 研究計画

■提案・話し合い（研究主任） □授業研究会 ◆作業・研修（職員） ★専門部活動

月	研修内容	月	研修内容
4	<p>■研究推進委員会・校内研究 令和2年度校内研究構想 研究授業計画の提案</p> <p>□授業づくり部会① 「研究授業日程と教材決め」</p> <p>★心づくり部会① 「取り組む内容と役割分担」</p>	9	<p>□全体授業研究会（講師招聘） 5年1組 講師：武雄市立武雄北中学校 教頭 足立成美先生</p>
5	<p>★心づくり部会②（今後の活動計画・作業）</p> <p>★授業づくり部会①</p>	10	<p>★専門部会④</p> <p>□全体授業研究会（講師招聘） 講師：武雄市立武雄北中学校 教頭 足立成美先生</p>
6	<p>□全体授業研究会①（講師招聘） 4年1組 講師：武雄市立武雄北中学校 教頭 足立成美先生</p>	11	<p>★授業づくり部・心づくり部</p> <p>□市教育研究大会・教育事務所学校訪問 2年1組 6年1組 講師：武雄市立武雄北中学校 教頭 足立成美先生</p> <p>□グループ授業研究会</p>
7	<p>■研究推進委員会</p> <p>★心づくり部会④（作業）</p> <p>□グループ授業研究会①</p> <p>□グループ授業研究会②</p>		
夏 季 休 業	<p>★専門部会③（7月下旬） 授業研究部：指導案等 環境部：掲示物等</p> <p>★各専門部からの報告・お願いなど</p> <p>◆2学期に向けての教材研究及び 指導案づくり</p> <p>◆道徳教育講習会並びに指導案研修会 講師：武雄市立武雄北中学校 教頭 足立成美先生</p> <p>□研究授業のまとめ提案</p> <p>■研究推進委員会</p>	12	<p>★アンケートの実施②回目（授業研究部）</p> <p>★専門部会⑤</p> <p>■研究のまとめ（研究紀要）提案</p>
		1	<p>★専門部会⑥ 「振り返り・成果と課題」</p>
		2	<p>■来年度の方向性アンケート実施（職員）</p>
		3	<p>■来年度の方向性決定</p>

